

- 新たな人間模様を創る松永クreek活用計画 -

松永の現状

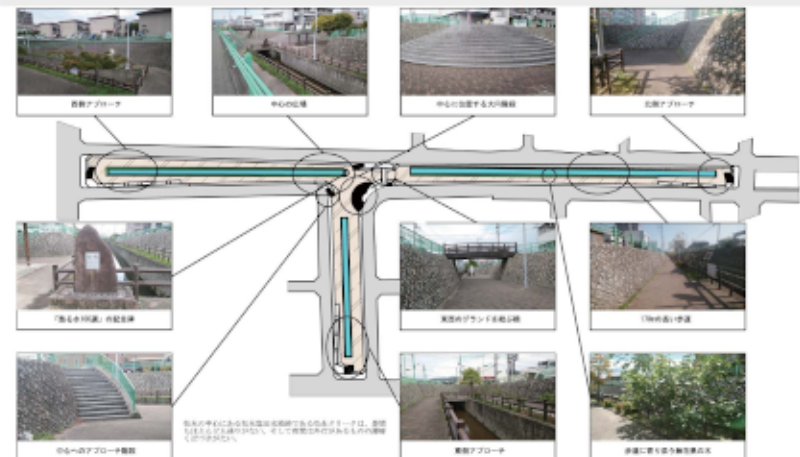
JR山陽本線松永駅の周りに広がる松永地域（南今津・今津・宮前・神村・南松永・松永・柳津・本郷）には、活気がない。松永の東西にある福山駅と尾道駅の周辺には観光客などが多く訪れ、活気がある。松永地域（以下、松永）は道を通っている人もまばらであり、特に人々の交流の場があるわけではない。なおそのせいで、活気がないと見える要因になっている。活気がないと内外から元気のない町に見え、人が離れてゆく原因にもなる。また、松永の中心にある松永塩田水路跡である松永クreekは、昼間もほとんど人通りがない。そして夜間は外灯があるものの薄暗く近づきたい。

コンセプト

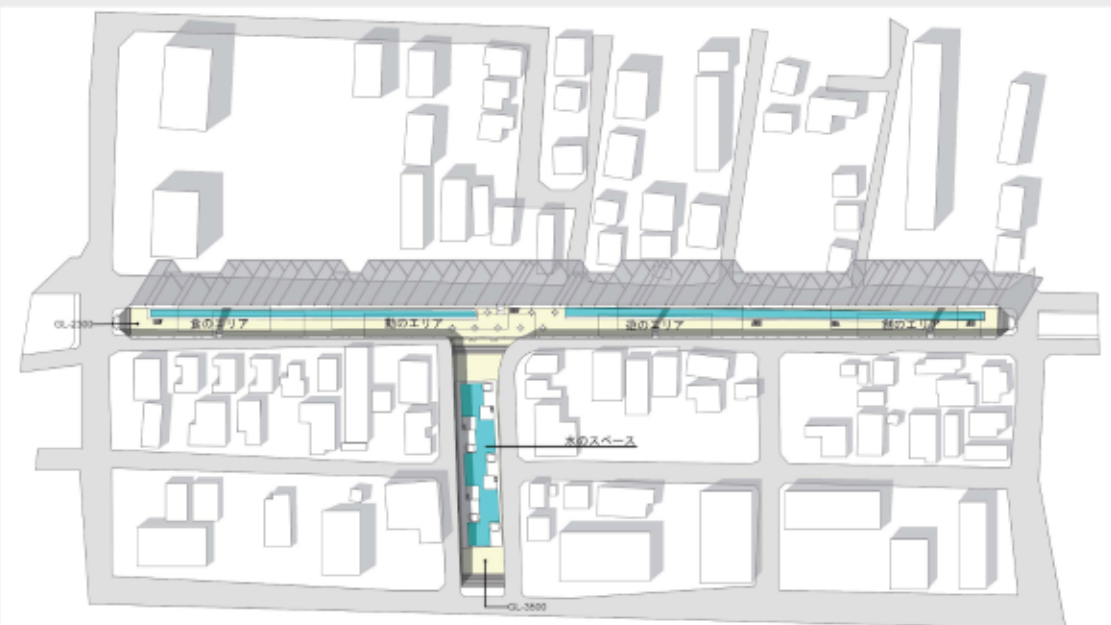
活気のない松永クreekに新たな人々の居場所になる建築を計画する。テーマはコミュニケーションとモノづくり。様々な人を集めてモノづくりなどをすることで交流を生み、新たなコミュニティを形成していく。更に建物内で作った物売ることによって人を呼び、なお大きな輪となってコミュニティが広がっていき、そこが誰かの新しい居場所になる。東の水辺のスペースでは、多くの人が水と触れ合うことで自然と交流が生まれ、子供同士でも大人同士でも新たな繋がりが出るようにする。



現状平面図



計画平面図兼エリア分け図



立面図



断面図 (E-E')



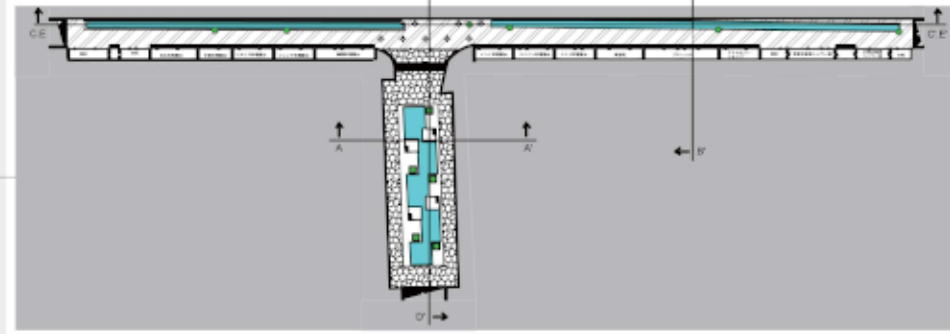
3F平面図



2F平面図



B1, B2平面図



ダイアグラム

